



近畿農政局 企画調整室



え!京都府産バナナ?

(京都府亀岡市)

猛暑であった夏も過ぎ、秋の気配がする中、亀 岡市のハウスでは、南国で見られるような大きな 葉っぱが生い茂っています。

生産者である京都市の新規就農者、奈佐さん にお話を伺ったところ、「1年前に法人を立ち上げ、 全国で少しずつ増えている国産バナナ生産に取 り組み、今年7月、京都府産バナナを初めて収穫、 京都市内のカフェや洋菓子店に出荷、また直売 所でも販売し、好評だ」とのこと。

近畿管内では、兵庫県姫路市、和歌山県海南 市、紀の川市でも国産バナナ生産が行われてい ます。

◆◆ 主な内容 ◆◆

インフォメーション

- ●農産物の脱炭素の「見える化」をしてみませんか
- ●「グリーンな栽培体系を学ぶ第1回オンライン セミナー」の開催
- ●BUZZ MAFF「となりの近畿」棚田で稲刈りをし てみた!
- ●統計情報 作物統計調査 令和3年産指定野 菜 (秋冬野菜等)及び指定野菜に準ずる野菜 の作付面積、収穫量及び出荷量

トピックス

●基盤整備・農業用施設・機械等を農地面積の 大小にかかわらず、手軽に迅速に支援します。









←農林水産省公式Facebook、Twitter及びYouTubeは、近畿農政局ホームページからもアクセスできます。

新鮮mini情報のバックナンバーは、 「近畿農政局 ミニ情報」で検索できます。

農産物の脱炭素の「見える化」をしてみませんか

農林水産省では、フードサプライチェーンにおける脱炭素化を推進するため、農産物の生産段階における温室効果ガスを算定できる「温室効果ガス簡易算定シート」(試行版)を作成しましたので、是非お試しください。

1.趣旨

「みどりの食料システム戦略」が目指す持続可能な食料システムを構築するためには、フードサプライチェーン全体で脱炭素化を推進するとともに、その取組を可視化し、気候変動対策への資金循環や持続可能な消費行動を促すことが必要です。

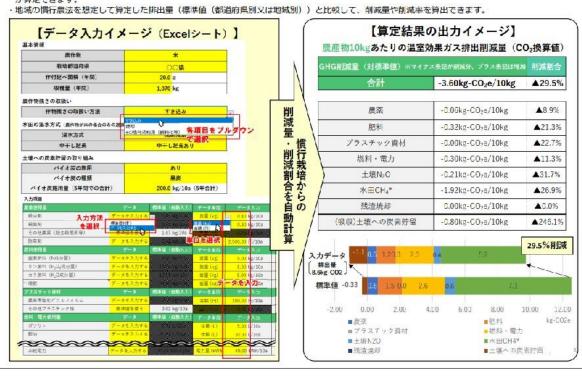
当省では、令和2年度から「フードサプライチェーンにおける脱炭素化の実践とその可視化の在り 方検討会」を開催し、生産段階の温室効果ガスを算定できる「温室効果ガス簡易算定シート」の検 討を行ってきました。このたび、本シートを試行版として、関心のある生産者や地方自治体、民間 企業等に広くご利用いただけるようになりました。

利用を希望される方は、農林水産省ウェブサイトから登録してください。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/b_kankyo/santeiapply.html

農産物の温室効果ガス簡易算定シートの概要

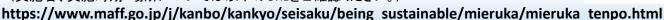
・生産者が生産段階で実際に使用する農薬・肥料等の資材投入量や農業機械や施設暖房等のエネルギー投入量等を入力することで、温室効果ガス排出量が算定できます。



2.簡易算定シートのポイント

- ・生産者が生産段階で実際に使用する農薬・肥料等の資材投入量や農業機械や施設暖房等のエネルギー投入量等を入力することで、温室効果ガス排出量が算定できます。
- ・地域の慣行農法を想定して算定した排出量(標準値(都道府県別又は地域別))と比較して、削減量や削減率を算出できます。
- ・現在の対象品目は米、トマト(露地と施設)、キュウリ(露地と施設)の3品目です。今後、対象品目を拡大していく予定です。
- ・分解しにくい形態の炭素を長期間地中に貯留する技術であるバイオ炭の農地施用や水田からの メタン排出を削減する栽培技術である中干し期間の延長による温室効果ガスの削減効果を反映 することが可能です。
- ・先行して行った本シートによる算定結果を利用して、温室効果ガス削減効果を 「見える化」した農産物を実証販売します。

(実施者、実施時期・場所については以下のURLをご確認ください。)





農政局からの

◆「グリーンな栽培体系を学ぶ第1回オンライン セミナー」の開催

農林水産省は、「環境にやさしい栽培技術」と 「省力化に資する先端技術等」を組み合わせた 「グリーンな栽培体系」の取組みを学ぶオンライ ンセミナーを開催します。

1. 開催日時

令和4年10月26日(水曜日)13時00分~16時10分 ZOOMまたはYouTubeでご視聴できます。

2. 内容

- (1)講演「総合的病害虫管理(IPM)と天敵利用」
- (2) 産地発表(福井県、愛知県)
- (3)講演「緑肥等の有機物による土づくりと化学 肥料代替」
- (4) 産地発表(滋賀県、兵庫県)

3. 参加申込方法

以下のHPからお申し込みください。開催当日ま でに、視聴用URLをお送りします。 https://hubs.ly/Q0112NBNO(外部サイト)

4. 申込締切 令和4年10月19日(水曜日)

5. 問合せ先

農林水産省農産局技術普及課担当者:渕上、 池田、道端 代表:03-3502-8111(内線5199) ダイヤルイン: 03-3501-3769

◆ BUZZMAFF「となりの近畿」眼下に琵琶湖が広 がる棚田で稲刈りをしてみた!



県高島市の棚田で、 眼下に琵琶湖が広 がる美しい風景の中、

近畿農政局では BUZZMAFF「となり

の近畿」をYouTube

第3話では、滋賀

で配信中です。

楽しく稲刈りをしてい ます。

ぜひご覧ください。



詳しくはこちら(BUZZ MAFF ホームページ) https://www.maff.go.jp/j/pr/buzzmaff/

統計情報

◆作物統計調査

令和3年産指定野菜(秋冬野菜等)及び指定野菜 に 準ずる野菜の作付面積、収穫量及び出荷量

ー秋冬野菜の収穫量は前年産に比べ1%増加、 ほうれんそうは同2%減少、指定野菜に準ず る野菜は前年産並みー

【調査結果の概要】

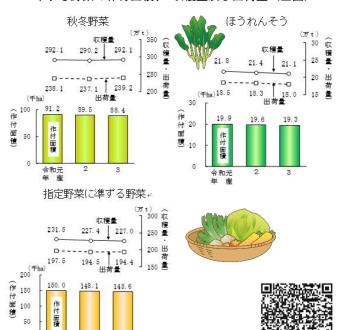
1 指定野菜

- (1) 秋冬野菜 作付面積は8万8.400ha で、前年産 に比べ1,100ha (1%)減少しました。収穫量は 292万1,000 t 、出荷量は239万2,000 t で、前年産 に比べそれぞれ 1 万9,000 t (1%)、2 万1,000 t (1%) 増加しました。
- (2) ほうれんそう 作付面積は1万9,300ha で、前 年産に比べ300ha (2%) 減少しました。収穫量 は21万500 t 、出荷量は17万9,700 t で、前年産に 比べそれぞれ3,400 t (2%)、3,000 t (2%) 減少しました。

2 指定野菜に準ずる野菜

作付面積は14万5,600haで、前年産に比べ2,500ha (2%) 減少しました。収穫量は227万 t、出荷 量は194万4,000 t で、それぞれ前年産並みとなり ました。

図 令和3年産指定野菜(秋冬野菜等)及び指定野菜に 準ずる野菜の作付面積、 収穫量及び出荷量(全国)



詳しくはこちら (農林水産省ホームページ) https://www.maff.go.jp/j/tokei/kekka_gaiyou/ sakumotu/sakkyou_yasai/r3/shitei_yasai_akifu vu/index.html

基盤整備・農業用施設・機械等を 農地面積の大小にかかわらず、手軽に迅速に支援します。

令和4年度版 農地耕作条件改善事業

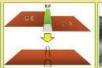
農地中間管理事業の重点実施区域内において、農地の集積を進める ため、暗渠排水や区画拡大等の生産基盤の条件整備を支援します。

<小さなものでも、いつでもすぐに支援します>

- 農地の面積にかかわらず実施できます
- 申請は年に1度ではなく、<u>複数回受付けます(いつでも申請可)</u>

農地の改善や、営農の定着に向けた支援











暗渠排水

区画拡大

農作業道等の補修・拡幅 農作物被害防止柵

荒廃農地の再生





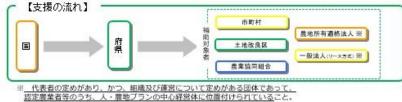


防草シートの設置 監視力メラの設置

排水改良等の作業機(補助暗きょ)の導入 ※ 「作業権の個人」の支援の要件は関係をご覧ください

<支援(補助)の要件>

- 対象農地は、農地中間管理事業の重点実地区域内の農用地区域
- 0 受益者は、農地所有者(出し手)を含めて2者以上。
 - 総事業費が200万円/件以上。
 - ※ 基線整備による工事等で200万円以上となること
 - 補助率:対象経費の2分の1以内等



※ 本要件は地域農助集積型の要件のため、他の型の要件についてはお問い合わせください

<申請に当たっての留意事項>

本事業の申請に当たっては、府県農地中間管理管理機構から農地を借り受ける ※ことが必要です。まずは、市町村・農業委員会等にご相談ください。 また、府県、近畿農政局にもお気軽に電話にてご相談ください。

※ 借り受けにより経営面積が拡大すること。

詳細は、以下の近畿農政局HPをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kinki/seisaku/nosonsinko/nouson_seibi/202003.html

【支援の内容】

- 1 基盤整備 (ハード)
 - ①農業用用排水施設
 - ②暗きょ排水
 - ③土層改良
 - 4区画整理
 - ⑤農作業道等
 - 6 営農環境整備支援
 - ⑦スマート農業導入支援
 - ⑧管理省力化支援
- 2 営農の定着に向けた支援 (ソフト)
 - ①品質向上支援
 - ②条件改善推進費(定額 (年額300万円まで)
 - ③高収益作物導入支援※2
 - 4)高収益作物転換推進費

お問合せ先

〇各府県・市町村において、本事 業の活用に当たっての御相談・ 御質問の窓口を設置しています。 電話から問い合わせの際には、 お住まいの府県・市町村の相談 窓口へお問い合わせください。 このほか、近畿農政局農村振興 部農村環境課でも相談を受け付 けております。

農村振興部農地整備課

担当者:経営体育成基盤整備係

代表: 075-451-9161 (内線 2568)

ダイヤルイン: 075-414-9541



農林水産省近畿農政局

企画調整室 滋賀県拠点 京都府拠点 大阪府拠点 兵庫県拠点 奈 良 県 拠 点 和歌山県拠点

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

〒520-0044 大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎6F

〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

〒650-0024 神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎4F

〒630-8113 奈良市法蓮町387 奈良第3地方合同庁舎 〒640-8143 和歌山市二番丁3 和歌山地方合同庁舎

TEL(075)451-9161 FAX(075)414-9060

TEL(077)522-4261 FAX(077)523-1824 TEL(075)414-9015 FAX(075)414-9057

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎1号館6F TEL(06)6943-9691 FAX(06)6943-9699

TEL(078)331-9941 FAX(078)331-5177

FAX(0742)36-2985

TEL(073)436-3831 FAX(073)436-0914

TEL(0742)32-1870